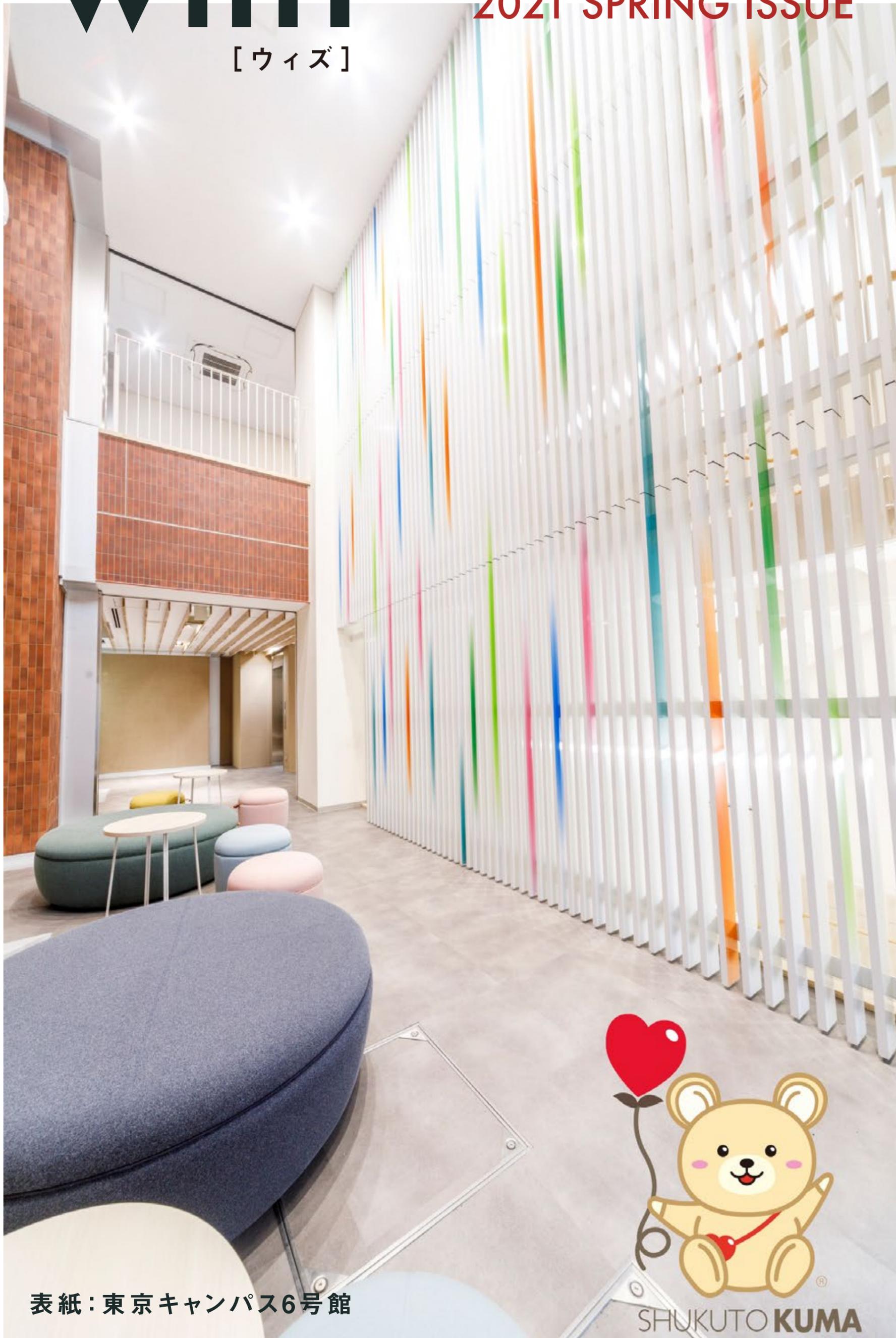


淑徳大学とあなたとの架け橋に、あなたと共にある広報誌

with
[ウィズ]

Vol.01 創刊号!
2021 SPRING ISSUE



表紙：東京キャンパス6号館



SHUKUTO KUMA

はじめまして、

「with」です。

～「with」創刊にあたって～

「with」は、淑徳生が企画・執筆・編集する、淑徳生の皆さんに向けた大学広報Webコンテンツです。私たち学生の目線で捉えたキャンパスの魅力や情報を、皆さんにシェアします。

ライフスタイルが日々変化する今、淑徳生の皆さんを繋ぐ架け橋になりたい。そしてこの先も、常に皆さんと共にある存在でありたい。そんな願いを「with」に込め、ここに創刊号をお届けします。

「with」を通じて、様々な出会いや発見が皆さんにありますように。どうぞ、よろしくお願いいたします。

CONTENTS

002 しゅくとくろにくる! —川島夕汰さん

003 新施設の紹介 —東京キャンパス6号館

スポット紹介 —気になる店舗の正体

004 プロジェクト紹介

『歴史』×『表現』演劇プロジェクト始動!!

在学生インタビュー —参加した理由は?

005 卒業生インタビュー —内定者インタビュー

学生紹介 しゅくとくろにくる!



プロフィール

名前：川島夕汰

所属：表現学科4年

将来の夢：作家

川島夕汰さんのあゆみ

| | |
|-----------|------------------------------|
| 中学生 | アニメや映画に影響を受け、作家になりたい!と決意 |
| 中学生の終わりごろ | 実際に書いてみてわかった。「まず文章表現法を学ぶべし!」 |
| 2019年 | 淑徳大学表現学科に入学。文芸サークルに入る! |
| 2019年後期 | 演劇の授業で脚本を執筆した! |
| 2020年初頭 | 小説の新人賞に応募した! |

Q1: 淑徳大学に入学した理由は?

頭に浮かんだ物語を上手く言葉にできない!
それがむず痒くて、文章表現を学べる大学に進学しようと決めました。
幅広く表現を学び、文章表現に活かせる大学が淑徳でした。

Q2: どのような活動をしているの?

文芸サークルでの企画立案や小説の新人賞への投稿、
イベントでの作品発表を中心に活動しています!

Q3: 印象的な授業は?

脚本を執筆した創作表現技法I(演技)!他の人の脚本を見て
意見を出し合い物書きとして充実した時間になりました!

Q4: 今後取り組みたいことは?

映像表現や演技の技法も吸収して、表現の幅を広げたい!

column 「創作表現技法I(演技)」

最終課題は学生のオリジナル演劇披露。裏方や役者と意見をぶつけ
合い、問題を共に解決。クラスメイトとの仲が深まった。

新施設の紹介



写真奥：録音室

写真手前：副調整室

2020年3月、東京キャンパスに6号館という新しい施設が誕生しました。約400人入ることのできる食堂はコンセント付きのカウンター席もあり、ひとりでも気軽に訪れることができます。また、録音室・副調整室・演劇スタジオ・編集スタジオ(PC施設)など表現学科のある東京キャンパスならではの実習施設も豊富に揃っています。

スポット紹介 気になる店舗の正体



ときわ台駅から大学へ向かう道中に漂う素敵なコーヒーの香りを感じたことはありませんか？今回はその正体である「CARIOKA COFFEE」をご紹介します！コーヒーの知識がなくても大丈夫。優しいマスターがあなた好みの味を選んでくれます。休憩がてらコーヒーを楽しんでみてはいかがでしょうか。

CARIOKA COFFEE

東京都板橋区常盤台2-29-16 10時～18時 日曜祝日定休

『歴史』×『表現』

演劇プロジェクト始動！！

両学科の交流を図るために生まれた演劇プロジェクト。表現学科と歴史学科が団結して企画を進める。人文学部の学生がどのような演目を披露するのか。



歴史学科 森田 喜久男 先生

表現学科 岡村 宏懇 先生

メイン人物は藤原道長！？

舞台は平安。『大鏡』の主人公藤原道長を主軸とした時代劇。五男として生まれた彼がどのように政治の頂点にまで上り詰めたのか。この劇では学生自らが時代考証を行い、知られざる藤原道長像を魅せる。

参加学生にinterview

Q.参加した理由とは？

コロナの影響で対面での演技が難しくなってしまう、これは参加するしかないと考え、参加を決めました。(表現学科3年. 平野花奈さん)

コロナ禍でも、積極的に何か活動したという、自分のなかでの自信を付けたかったから。(表現学科2年. 稲村萌さん)

Q.挑戦や目標は？

演者だけでなくメイクもやってみたい！(歴史学科2年. 春山さくらさん)

また、「予定通り公演させる!」「人との繋がりを持ちたい」「裏方でも演者でも全力を出したい」といったご意見もありました!

コロナ禍でもプロジェクト成功を目指す！

内定者インタビュー

— 2021年3月卒業生に聞いてみました —



歴史学科 高木 宏泰さん(学芸員)

Q.大学の行事で良い経験になったと感じたイベント

A.文化祭です。みんなで立ち上げた野球サークルで、2年生の時にポップコーンとベビーカステラを販売しました。サークル長として役割分担やシフトなどを考え、メンバーと協力して取り組みました。



表現学科 番場 怜夏さん(企画営業職)

Q.大学生活で学んだこと、そして後輩たちにひとこと

A. 大学生であるうちに自分の好きなことに没頭した方が良いです。それは何でもいいです。推しのコンサートに通い詰める。好きなドラマを見続ける。必ず自分にとってプラスになります。アルバイトやサークルなどで人と人との繋がりを大切に、沢山経験を積んでください。大学生である今を存分に楽しんでくださいね。応援しています。

創刊号
編集委員
(東京キャンパス)

| | | | | |
|-----|--------|-------|-------|-------|
| 学生 | 松本 奈美 | 長塚 太一 | 久保 夏音 | 小堀 友輔 |
| | 丹野 美緒 | 中村 桜子 | 宮本 奏 | 山田 悠華 |
| 教職員 | 遠藤 ゆり子 | 横手 拓治 | 高橋 俊寿 | |